

## 令和3年度第2回 岐阜大学特定機能病院外部監査委員会記録

日時 令和4年2月2日(水) 17:00~17:45

場所 医学部本館1階 小会議室

出席者 富田委員長、中西委員、王委員、清住委員、青木委員

関係出席者 吉田病院長、清水副病院長・医療安全管理責任者、熊田医療安全管理室長、境医療安全管理室副室長、廣瀬看護部長、塚田臨床倫理室長、馬場生体支援センター長、鈴木医薬品安全管理責任者、安田副薬剤部長、飯原薬剤師GRM、古井医療機器安全管理責任者、柚原臨床工学技士長、佐野看護師GRM、早野事務部長、畠山総務課長、坪井経営企画課長、岡田医事課長、齋藤医療支援課長、杉本総務課長補佐、佐藤医事課長補佐、山田医療支援課長補佐

### 1 開会

病院長挨拶

吉田病院長から開会に先立ち、挨拶があった。

### 2 議事

#### ① 病院機能評価を受けての医療体制の見直し

熊田医療安全管理室長から資料1及び参考資料3に基づき、令和3年8月に受審した病院機能評価の概略、及び病院機能評価において指摘された事項に対する取り組みについて報告があった。

<説明に対する主なご意見 ○:意見・質問 ●:回答>

- 濃厚な治療に関する介入について、大腸ファイバー等、検査診断時においても問題があることがあるが、対応するのか。
- 濃厚な処置また治療に対する指摘となっており、ご指摘いただいた内容も含めて対応している。
- 公益通報の指摘について、内部通報のため職員向けということであるが、患者さんなど対外の方へはどうか。
- 安全管理上の問題があった場合ということから原則職員向けと理解している。
- ホームページにも記載しているということなので、患者さんにもこのようなシステムがある旨の公表及び内部向けにはマニュアル等で周知徹底していく必要があるように感じた。
- ホームページ上にも現在公開しており、今後も対応していく。
- 病院機能評価において特定機能病院に対して厳しい指摘もあるが、きちっと

対応しており、特に医師に合併症として報告させるというのは新しいアイデアで引き続き取り組んでいただきたい。

## ② 令和3年度医療安全管理室の活動について

### 1) ベンゾジアゼピン系睡眠剤使用の見直し

飯原薬剤師GRMから資料2-1に基づき、転倒、せん妄リスク低減を目指した睡眠剤の適正使用に向けて、ベンゾジアゼピン系睡眠剤使用の見直しに関し、使用状況のモニタリング、研修会における講習、クリニカルパス等における使用薬剤の変更等の取り組みを行い、使用状況の改善がされている旨の報告があった。

＜説明に対する主なご意見 ○：意見・質問 ●：回答＞

- 不眠時の臨時処方に関する対応という理解でよいか。
- その部分も含まれている。
- 精神科医からの意見はなかったか。
- 見直しにあたり医療安全管理室及び脳神経内科、精神科の医師にも相談しながら進めたので比較的スムーズに対応いただき、またご理解いただいた。
- 転倒等は減少しているか。
- 取り組みを開始したのが昨年4月から順次進めており、アウトカムについては今後注目している。
- せん妄については改善するが、転倒については期待するほど改善されないという他院の報告もあるが。
- 転倒・転落のモニタリングは実施しているところであり、本取り組みに対する分析を進めたいと考えているが、有意に減少している状況ではない。
- 引き続き分析を進めていただきたい。

### 2) 令和3年度上半期分のインシデント報告について

佐野看護師GRMから資料2-2に基づき、令和3年度上半期分のインシデント報告集計について、合併症報告の開始に伴い、侵襲の高い検査治療において、永続的な障害が残る事例が発生していることが明らかとなり、レベル3b以上の報告が増加している旨報告があった。

＜説明に対する主なご意見 ○：意見、質問 ●：回答＞

- 医師からの合併症報告はレベル3b以上が多いか。
- 多いと分析している。

清水医療安全管理責任者から、合併症については、どの病院においても起こり

うる可能性があり、防ぎきれないものであるが、相談しやすい環境整備を進めてきた結果、相談・報告件数が増加している。今後も医療安全管理室として気軽に報告できるように職員に徹底していく所存であり、透明性を確保し、患者さんから疑念を抱かれないように取り組みをしていく。

医療安全において一番大事なものは風通しのよい組織文化にすることと考えている。何かあればすぐ相談してもらえ、環境や院内体制の整備を引き続き推進し、医療事故の防止に心がけていく旨説明があった。

### ③ 重点医療機器の定期点検について

柚原臨床工学技士長から資料3に基づき、重点医療機器の定期点検について報告があり、コロナ対策に関する補助金により人工呼吸器等が増加したことについて説明があった。

### ④ 令和3年度臨床倫理室の活動状況について

塚田臨床倫理室長から資料4-1、4-2に基づき、令和3年7月からの高難度新規医療技術等申請状況及び生命倫理を伴う緊急医療行為の実施協議状況について報告及び、参考資料3に基づき病院機能評価における指摘に伴う改善の取り組みについて説明があった。

＜説明に対する主なご意見 ○：意見、質問 ●：回答＞

- 高難度新規医療技術等において、患者さんへの説明の際看護師の同席を必須にしたということによいか
- 看護部の協力を得て、同席を必須とした。
- 同席する看護師は何らかの資格を持っていることや、高難度の内容を理解した看護師であるのか
- 高難度ということもあり、できる限りレベルの高い看護師及び認定看護師等が同席するよう対応している。
- 高難度新規医療技術等はどこで決定するのか。
- 外科の手術であれば外保連試案のD以上の難易度の手術、内科系であれば施設基準で医師要件、施設要件がある技術を新規で行う場合、高難度新規医療技術等として対応している。

## 3 その他

総務課長から次回の日程について、6月から7月頃に開催を予定し日程調整を行う旨、説明があった。

## 資料一覧

- 資料1            コロナ禍における病院機能評価受審
- 資料2-1        睡眠剤の適正使用に関する継続指示の変更について  
                  ベンゾジアゼピン系睡眠薬の使用状況について
- 資料2-2        令和3年度上半期分のインシデント報告について
- 資料3            医療機器の点検報告について
- 資料4-1        高難度新規医療技術等申請一覧
- 資料4-2        令和3年7月～令和4年1月  
                  生命倫理を伴う緊急医療行為の実施協議開催状況
- 参考資料1      岐阜大学特定機能病院外部監査委員会委員名簿  
                  (令和4年2月1日現在)
- 参考資料2      岐阜大学特定機能病院外部監査委員会規程
- 参考資料3・回収資料   病院機能評価   中間的な結果報告, 改善の取り組み